

エピソード

好きな遊びの時間、「見て見て！お星さまつくったよ！」とA児が嬉しそうに持ってきたのは、カラフルな画用紙でつくった輪つなぎの星。一斉活動で輪つなぎをつくったことを思い出したようで「もうすぐ七夕やからつくってん。部屋に飾りたい」と言いました。T「すごい！カラフルでほんまに光っているみたい！どこに飾る？」と聞くとA児は保育室を見渡し、なにかを発見した顔で保育室の壁側に急ぎ足で行き「ここがいい！」と広い空間になっていた白い壁を指さしました。T「いいね！じゃあ、この星にぴったりの、大きな笹を先生とつくってみる？」と聞くと、A児は笑顔で「うん」と言いました。

保育者が笹の葉を切ってA児と一緒に貼っていくと、保育者とA児が楽しくしている姿や大きくなっていく笹を見て、「Bもしたい！」とやってきて、B児も一緒に笹を貼りはじめました。ところが、壁が少しボコボコして、セロテープがうまくくっつきません。「あ～、剥がれちゃう…」と困り顔のB児。じーっと様子を見ていたC児が、「これでやったら？」と、保育者とA児がつかっていた養生テープをサッと取り、B児に手渡しました。「やった！くっついた！」とB児は笑顔になり、他の幼児も加わり、どんどん笹を大きくしていきました。笹が長くなっていく様子を確認するかのよう、笹に近づいたり、少し後ろに下がって笹を見上げたりしていたA児たちでした。

保育者の思い

- ★いつも電車で遊んでいるA児がじっくりつくっている様子を見守り、一斉の経験から出てきた七夕飾りを大切に受け止めたい。
- ★A児の「飾りたい」という気持ちを大切にしたいと思い「どこに飾る？」と問いかけ、子どもが自分で飾る場所を決められるようにした。
- ★保育者が笹の土台を一緒につくることで、七夕飾りのイメージを実現できるようにし、飾りたい気持ちが満足できるようにした。また、友達も一緒に遊びに加わりやすい雰囲気づくりをした。
- ★保育者が使っていた養生テープをさりげなく近くに置くことで、使ってみようと思えるようにした。
- ★A児が、昨年度違うクラスだった友達との関わりが増えてきていることを嬉しく思った。
- ★保育者も一緒に遊んだり、見守ったり、仲立ちしたりすることで、楽しく取り組むきっかけになればいいなと考えた。

家庭だったら・・・

子ども達にとって、毎日の暮らしは学びでいっぱいです！いろいろなことを知ったり気付いたりする発見の喜び、やってみたいという好奇心や意欲など、日常の遊びやお手伝いなどを通して、大人の方の見守りの中で、子どもが満足感や達成感を味わえるといいですね♪

そして、もうすぐお月見の季節です。満月を見たり、秋の空を見たりして、親子で楽しんでくださいね😊

子どもの育ちや学び

- ♡A児：・クラスでの七夕製作の活動の経験を活かしてつくることを楽しむ。  
・飾る場所を考え、つくったものを飾れたことで、もっとやりたいという意欲が高まった。  
・友達が一緒にしたい気持ちを受け入れ、イメージを共有しながらつくっていく。  
・つくったり飾ったりしてもらったりする満足感を感じている。
- ♡B児：・友達や保育者が笹をつくっている様子を見て、自分もやってみようと思う気持ち。  
・いつも製作でつかっているセロテープが壁にくっつきにくいと気づいた。
- ♡C児：・セロテープより養生テープの方がよくくっつくと考えた。  
・友達の困り感に気づいて、自分の知っている方法を伝える。

